

令和5年度

ウッドシティ
TOKYO
モデル 建築賞

受|賞|作|品|集

発行

令和6年3月

発行者

東京都 産業労働局 農林水産部 森林課
東京都新宿区西新宿2-8-1
TEL.03-5320-4855

令和5年度

ウッドシティ
TOKYO
モデル 建築賞

受|賞
作|品|集

●協力

公益社団法人 日本アロマ環境協会
株式会社隈研吾建築都市設計事務所
株式会社松下産業
社会福祉法人 武蔵村山育成会
一級建築士事務所 赤池友季子建築研究所
トウヤマアーキテクツ一級建築士事務所
株式会社ジャクエツ
細田建設株式会社
ポラテック株式会社
株式会社ジーテック
鹿島建設株式会社
サッポロ不動産開発株式会社
株式会社SALHAUS
サンユー建設株式会社
社会福祉法人 恵比寿会
デザインファームBAUM
江州建設株式会社
株式会社立飛ホールディングス
株式会社スタジオタクシミズ
株式会社ランドスケープ・プラス
株式会社山下設計
株式会社フレームワークス
株式会社大林組
ENEOSホールディングス株式会社
株式会社三菱地所設計
株式会社NIPPO
株式会社日建設計
清水建設株式会社
三菱地所ホーム株式会社

(掲載順)

●制作

株式会社トライ



リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



令和5年度
ウッドシティ
TOKYO
モデル 建築賞について

東京都では、木材の大消費地・東京において、新たな木材需要を喚起することで、多摩地域をはじめ全国の森林循環を促進し、林業・木材産業の成長を図るため、木材利用の新たな可能性を開拓する革新的・モデル的な建築物又は木質空間を表彰する「ウッドシティTOKYOモデル建築賞」を実施しております。

応募対象

- ・東京都内に所在すること。
- ・公開可能な非住宅の施設であること。
- ・構造材や内装材などの全部又は主要な部分に国産材を使用していること。
- ・直近5年以内(平成30年4月1日から募集開始の前日まで)に竣工した木造及び混構造建築物、又は直近5年以内に木質化した空間であること。
- ・建築物又は木質空間として優れたデザインであるもの
- ・建築等の過程において女性が活躍したもの(女性活躍賞のみの着眼点)
- ・同一の建築コンクール等において、知事賞や大臣賞の受賞歴がないこと。
- ・都市部におけるオフィスの木質化の波及に寄与するもの(オフィス木質化賞のみの着眼点)

審査における着眼点

- ・令和5年7月3日から令和5年9月15日まで作品募集
- ・令和5年10月30日 審査
- ・令和6年1月11日 表彰式(「WOODコレクション(モクコレ)2024」開会セレモニーにて受賞作品の発表)

審査委員(五十音順)

- ・杉山 和佳子 氏
一般社団法人日本インテリアコーディネーター協会 副会長
- ・多幾山 法子 氏
東京都立大学大学院都市環境科学研究科建築学域 准教授
- ・原田 真宏 氏
株式会社マウントフジアーキテクツスタジオ一級建築士事務所
主宰建築家、芝浦工業大学建築学部建築学科 教授
- ・古谷 誠章 氏
早稲田大学創造理工学部建築学科 教授
- ・東京都産業労働局 農林水産部長

受賞作品／所在地情報

作品関連サイト



©Masaki Hamada (kkpo)

最優秀賞(東京都知事賞)
01 | AEAJ Green Terrace

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-34-24
JR山手線「原宿駅」東口より徒歩7分
東京メトロ千代田線・副都心線「明治神宮前駅」7番出口より徒歩3分



AEAJ Green Terrace HP
<https://www.aromakankyo.or.jp/greenterrace>

P.3



©Masaki Hamada (kkpo)

女性活躍賞(東京都知事賞)
奨励賞(産業労働局長賞)
02 | 育成会ひまわり保育園

〒208-0013 東京都武藏村山市大南3-71-1
施設見学をご希望の方は
株式会社ジャクエツHPからお問い合わせください。



赤池友季子建築研究所+トウヤマアーキテクツ HP
<https://www.aka-yama.com/>



株式会社ジャクエツ HP
<https://www.jakuets.co.jp/>

P.5



©阿野太一

オフィス木質化賞(東京都知事賞)
奨励賞(産業労働局長賞)
03 | ジューテック本社ビル

〒105-0004 東京都港区新橋6-3-4
JR山手線「新橋駅」より徒歩10分 都営地下鉄大江戸線・浅草線「大門駅」より徒歩10分
都営地下鉄三田線「御成門駅」より徒歩4分
見学に関しては、ジオリーグループ株式会社HPからお問い合わせください。



ジオリーグループ
株式会社 HP
<https://www.geolive.co.jp/>

P.7



奨励賞(産業労働局長賞)

04 | 鉄と木の積層オフィス
-SreedEBISU+

〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-21-5
JR山手線「恵比寿駅」徒歩2分
JR山手線「恵比寿駅」徒歩5分

©吉田 誠



サッポロ不動産開発
株式会社 HP
https://www.sapporo-re.jp/business/sreed/sreedebisu_plus_t/

P.9



奨励賞(産業労働局長賞)

05 | 柴崎第二学童保育所

〒190-0023 東京都立川市柴崎町2-19-7
JR中央線「立川駅」徒歩10分
多摩モノレール「立川南駅」徒歩9分
施設見学をご希望の方は社会福祉法人恵比寿会法人本部
tel:042-523-7601またはHPよりお問い合わせください。

©Kenichi Aikawa



デザインファーム BAUM HP
<https://www.def-baum.com/work/shibasaki-second-after-school/>
社会福祉法人恵比寿会 HP
<https://www.fellowhomes.or.jp/>

P.11



奨励賞(産業労働局長賞)

06 | GREEN SPRINGS

〒190-0014 東京都立川市緑町3番1
JR中央線「立川駅」徒歩8分
多摩モノレール「立川北駅」徒歩4分



GREEN SPRINGS HP
<https://greensprings.jp/>

P.13



奨励賞(産業労働局長賞)

07 | ENEOS
マルチモビリティステーション

〒154-0012 東京都世田谷区駒沢2-3-1
東急電鉄田園都市線「駒沢大学駅」徒歩3分



ENEOS ホールディングス
株式会社 プレスリリース
https://www.hd.eneos.co.jp/newsrelease/upload_pdf/20230125_01_01_0906370.pdf

P.15



奨励賞(産業労働局長賞)

08 | 銀泉西新橋ビル

〒105-0003 東京都港区西新橋1-15-4
都営地下鉄三田線「内幸町」直上



銀泉株式会社 HP
https://www.ginsen-gr.co.jp/building/tokyo/nishishinbashi_p.html

P.17



奨励賞(産業労働局長賞)

09 | SHIMZ CYCLE UNIT
(シミズサイクルユニット)

〒135-0042 東京都江東区木場2-15-3



清水建設株式会社 HP
<https://www.shimz.co.jp/mokushitsu/>

P.19



奨励賞(産業労働局長賞)

10 | 三菱地所ホーム本社
TOKYO BASE

〒160-0052 東京都新宿区新宿六丁目27番30号 新宿イーストサイドスクエア7階
都営大江戸線・副都心線「東新宿駅」直結

法人向けオフィス見学をご希望の際は下記メールまでご連絡ください。
(商談施設併設の為、原則一般開放しておりません)
連絡先: 三菱地所ホーム株式会社 kengaku_tb@mjhomes.co.jp



三菱地所ホーム
株式会社 HP
<https://www.mitsubishi-home.com/>

P.21



©Masaki Hamada (kkpo)

01 | 最優秀賞

AEAJ Green Terrace

施主 公益社団法人 日本アロマ環境協会

受賞者 設計者 株式会社隈研吾建築都市設計事務所

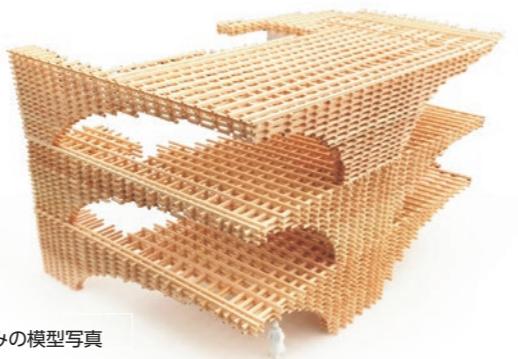
施工者 株式会社松下産業

都心にありながらも森を感じられるような場所

植物の恵みを五感で体験できる“神宮前の小さな森”をコンセプトに、都心にありながらも森を感じられるような場所としてオープンした「AEAJグリーンテラス」。

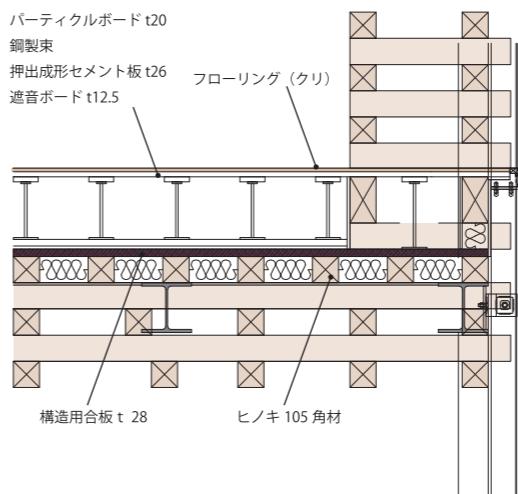
ヒノキやカラマツ、クリなどの木材をふんだんに使用した空間は足を踏み入れた瞬間に温かみのある森の香りに包れます。木材はすべて国産で使用量は合計で95m³。ヒノキは東海4県、カラマツは長野県、クリは岩手県の木材を使用しました。また、本施設の特徴のひとつでもある国産ヒノキの木組積は、拡張樹脂アンカーアーリング法を用いて鉄骨柱と繋ぐことで建物の揺れを軽減し居住性を高めています。また、鉄骨梁と接合することにより木造で床をつくりました。カラマツのLVLは単板の積層材であり加工しやすいことから、壁や家具に展開し、木の組積で作る建物としてデザインしました。

また、木漏れ日から着想した照明計画や、日本固有の



木組みの模型写真

芳香植物を中心とした植栽、外壁の吹付には廃瓦、リサイクル精油瓶を使用しています。そして、精油瓶リサイクルボックスを設置し、植物の恵みの大切さを全身で感じ、地球環境に意識を向けていただくきっかけとなるような施設を目指しました。



木床構造：拡張樹脂アンカーアーリング法を用いて鉄骨梁に連結させることで、木構造の床とした。押出成形セメント板にて、事務所に必要な遮音性能を確保した。



照明計画：木漏れ日のような光をとおす木組みの格子天井の照明計画



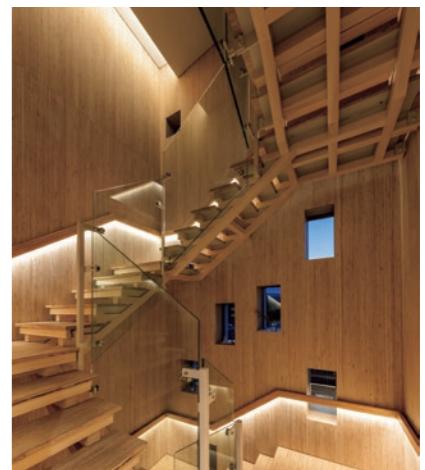
木組みの庇：アロマテラス



造作家具：ディスプレイ棚や書庫・可動棚はLVLの角材・ボードでつくり、キッチンカウンターは天板をヒノキ材、側板をCLTとした。



B1階：木組積壁とLVL角材の壁・フローリング・アロマコリドーの植栽と多種多様な木に囲まれたイベントスペース



階段：手摺・踏板はLVL/蹴上・ササラを75角ヒノキ材で木質化

受賞概要・講評

渋谷区に所在する一般向けアロマ体験施設兼オフィス。ヒノキの組積など国産材をふんだんに使用し、環境にやさしく、一般利用者や職員が過ごしやすい空間となっている。

本作品について、「木の組積は、鉄骨造の振動を和らげるとともに、木材の使用量が圧倒的で、アピール効果が高い点」「夜景時には、木組の3層構造が際立ち、立体的で迫力がある点」等が評価された。



©Masaki Hamada (kkpo)

02 | 女性活躍賞/奨励賞

育成会ひまわり保育園

受賞者

女性活躍賞

社会福祉法人 武蔵村山育成会ひまわり保育園 堀越千草
赤池友季子建築研究所・株式会社ジャクエツ・トウヤマアーキテクツ設計共同体 當山友季子

奨励賞

奨励賞

施主 社会福祉法人 武蔵村山育成会
設計者 一級建築士事務所 赤池友季子建築研究所、トウヤマアーキテクツ一級建築士事務所、株式会社ジャクエツ

施工者 細田建設株式会社、ポラテック株式会社

地域に溶け込む木造の都市型保育園

敷地は東京都武蔵村山市。武蔵野台地・狭山丘陵に向かって住宅地が広がりながらも、おおらかな雰囲気のある地域である。異年齢児間での交流や木に囲まれた生活を通じ体験を豊かにしたい保育への想いから木造平屋建てを望まれた。保育室等の保育機能を1階に集約する事で子どもたちの活動が分断されないゾーニングとし異年齢の交流が生まれやすい環境とした。



梁上部が吹き抜けていて、空を眺められる保育室

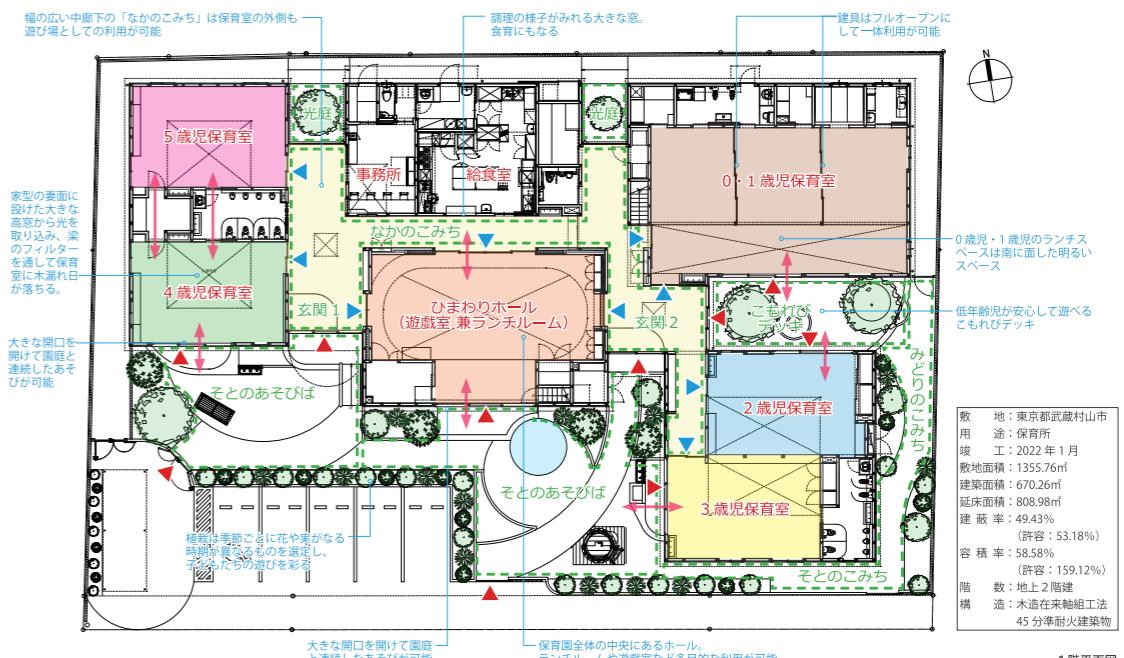


ダイナミックな大梁が架かるひまわりホール



梁がレイヤーとなり自然光が柔らかく注ぐ保育室

住宅スケールに分散した木架構の家型ボリュームを周囲に散りばめた「あそびば(園庭)」が繋ぐ。



1階平面図



そとのこみち・そとのあそびば



こもれびデッキ。子どもが触れる高さの外壁やデッキは木材を採用

5つの家型ボリュームは、異なる木架構で計画。構造も空間も特色が異なる各保育空間



受賞概要・講評

武蔵村山市に所在する私立保育園の新築園舎。保育室やホールは、建物ごとに異なるデザインの梁を表しで使用するほか、内装・外装ともに木質化し、温かみのある木造園舎となっている。

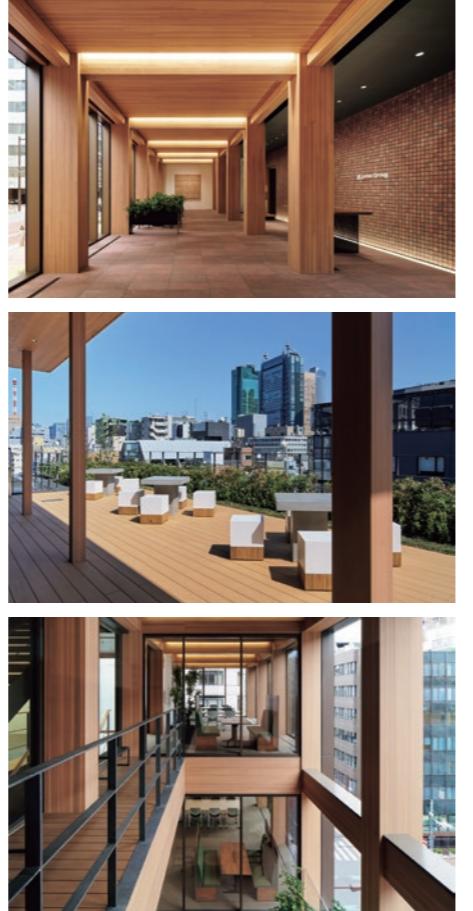
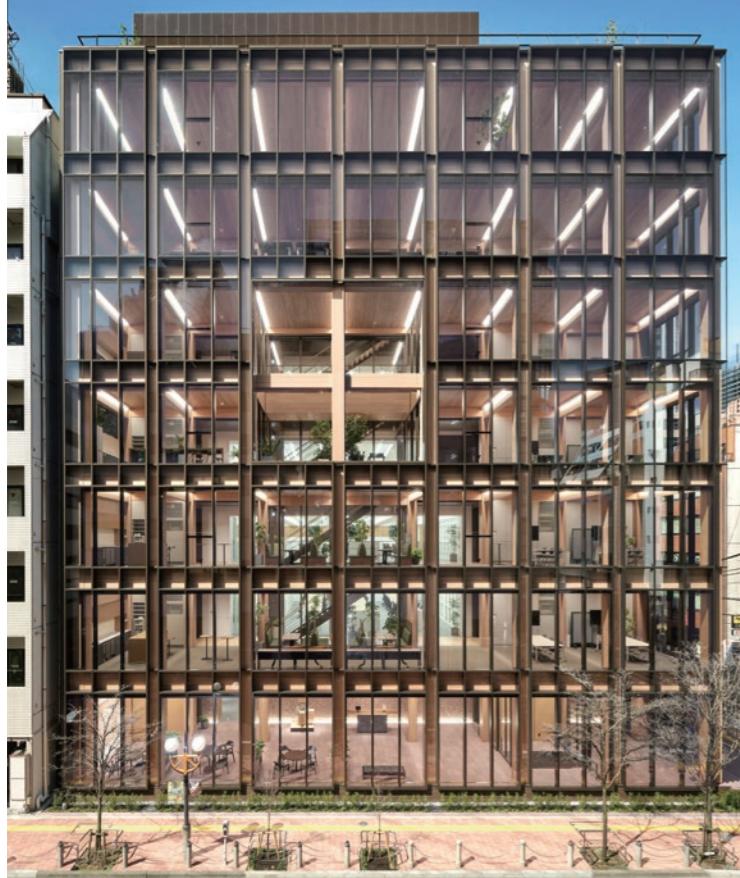
女性活躍賞

環境にやさしい循環型の木造園舎にすること、子どもたちの過ごしやすい園舎にすること、保育園で働く人にとって保育がしやすく働きやすい環境にすること、の3点を実現するため、園長をはじめとする保育園職員と、設計担当者によりチームを編成。調査や意見交換、視察等を重ね、目標とする園舎の実現に取り組んだ。

女性活躍賞については、「現場の意見を丁寧に吸い上げたきめ細やかな設計である点」「調査や意見交換が活発に行われている点」等が評価された。

奨励賞

本作品については、「架構にバリエーションがあり、木の活用により優しい雰囲気となっている点」「木格子堀とするなど、外装にもこだわっている点」等が評価された。



© 阿野太一

03 オフィス木質化賞/奨励賞

ジュー・テック本社ビル

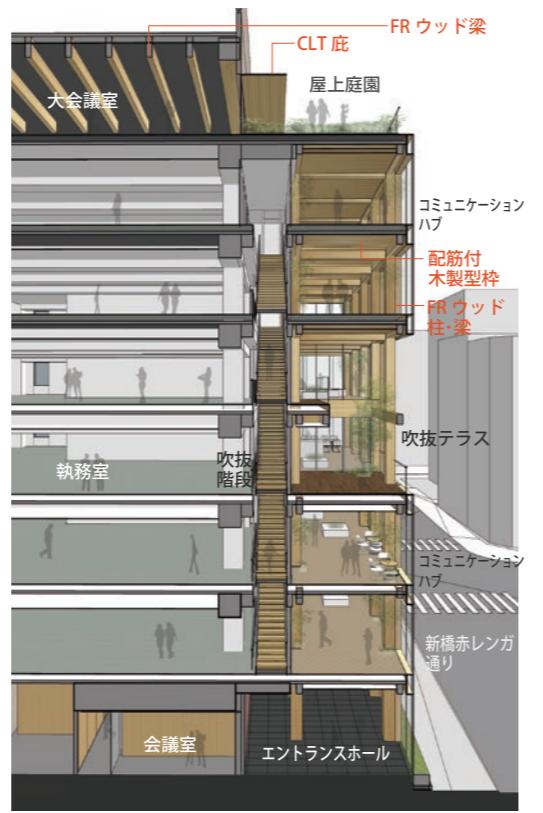
施主 株式会社ジュー・テック

受賞者

設計者 鹿島建設株式会社

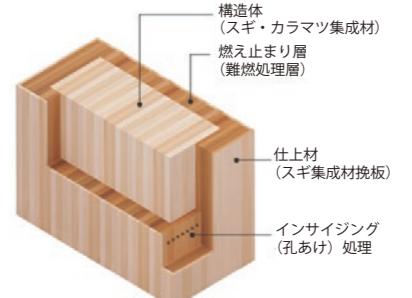
木を活かした都市を目指して

1923年の関東大震災直後に、復興建築資材としてベニヤ板供給のため起業したジュー・テックグループが、創業100周年を機に、創業の地に本社機能を還すプロジェクトである。新橋発祥の老舗企業の願いとして、良質な街並形成に貢献する建築の在り方が求められた。建物は凹型の敷地形状を活かし、地震水平力・経年変位・耐火性能など木質構造の課題解決に向けて3つのブロックで構成した。西側に「執務ゾーン」(鉄骨造)、「緩衝ゾーン」を挟み、東側・新橋赤レンガ通りに面して多様な活動を促す「コミュニケーションハブ」(木造)を配している。「コミュニケーションハブ」は、開放的な階段でフロアを結び部門間の交流を活性化すると共に、高透過ガラス越しに木架構を表出し、街に開き企業活動や理念を広く発信することを企図した。敷地条件を読み解き、適所に利用した木材は全て見えるように工夫した垂直分割ハイブリッド構造であり、都市型木造ビルの様々な課題に對して応え、今後の都市型木造ビルのプロトタイプを目指した。

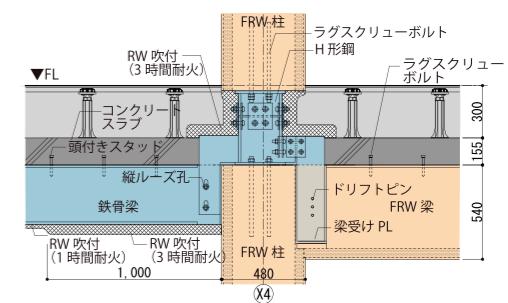


木を魅せる耐火集成材

国内唯一の技術で、国産スギ材に難燃薬剤を注入した燃え止まり層で被覆する純木質耐火集成材である「FR ウッド」を主要構造部(柱・梁)に採用した。多層型建築物にFRウッドを採用するのは初めてであり、都心の防火地域に立地する大中規模の耐火建築物への展開、一般的なオフィスビルを含め様々な施設への普及効果が期待される。



純木質耐火集成材 FR (Fire Resistant) ウッド



多層型木造ビルを実現する金物詳細図

木でビルをつくるための金物

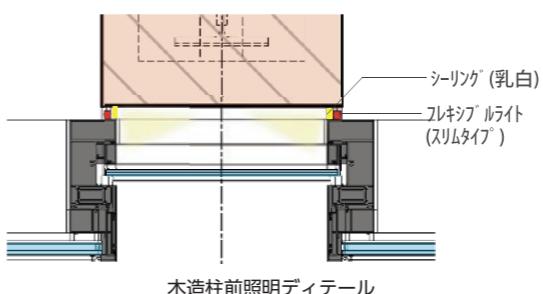
木の柱・梁接合部の金物は木板の後貼がなく、鉄骨部と同じ職人が建てられるディティールを開発した。工場で先付した金物同士を、梁受けプレート上部でボルト接合し、各層ごとに建入れ精度を調整することができ、多層型建築物に適した納まりである。木部と取り合う鉄骨梁や床下の金物は、1m範囲を3時間耐火被覆厚とし、鉄部からの熱橋により木構造部が燃えないよう配慮した計画である。

木を表出する内外装

スラブには木板を先付したスチールデッキを採用し、床下空調とすることで型枠をそのまま内装仕上げとし、階高4mで天井高さ3.5mを実現した。梁を魅せる照明計画として、配線はスラブ埋設配管とし梁際を照らす間接照明とした。

ガラスカーテンウォールは木架構のリズムに合わせ柱間で分節し、後退部分もガラスとすることで柱を表出するファサードデザインとした。さらに柱の建て方精度を±5mm以内とし、取合い部にLED照明を入れることで夜間も柱が室内光の影になることなく都市の夜景を彩る木を活かした照明デザインとした。

「コミュニケーションハブ」は4.5mスパンの門型木架構を3.6mピッチで配列し、長期荷重のみを負担する。水平力は「緩衝ゾーン」のコンクリートスラブを介して鉄骨エリアに伝達することで、木造エリアを自由度の高いオープン架構とした。



受賞概要・講評

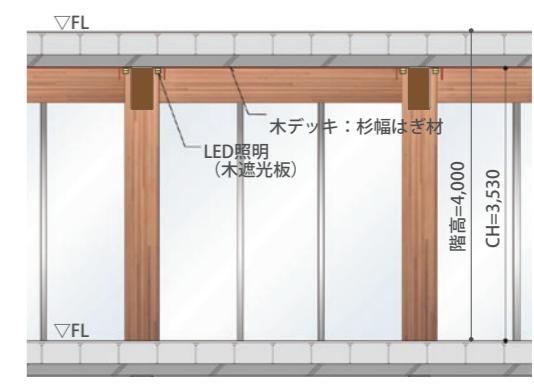
港区に所在する建材商社自社オフィスビルの新築。木造と鉄骨造の垂直分割ハイブリッド構造とし、通りに面する木造部を、ガラス越しに表出している。

オフィス
木質化賞

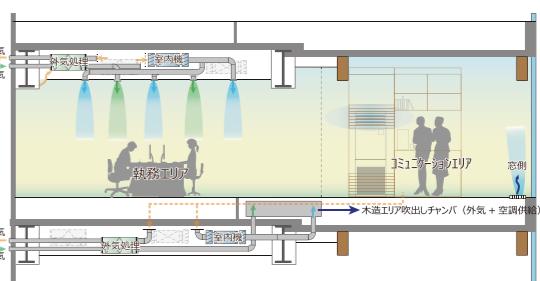
企業活動や理念を広く発信することを企図してデザインされている。本作品は、「外側ワンスパンの木造化により、効果的にオフィス空間の木質化に寄与している点」等が評価された。

奨励賞

本作品は、「鉄骨フレームと木フレームとで異なるクリープの処理に配慮されており、技術的に完成に近く、お手本となるような建築である点」等が評価された。



低階高・高天井の実現/配筋付木製型枠



低階高高天井の実現/床下空調システム



04 奨励賞

鉄と木の積層オフィス-SreedEBISU+t

施主 サッポロ不動産開発株式会社
受賞者 株式会社SALHAUS
施工者 サンユー建設株式会社

都市木造を「民主化する」

特殊な認定工法を用いず、民間の小規模賃貸事務所ビルでも採用可能な都市木造建築の新たなプロトタイプを目指し、二つのことを試みた。一つ目は、鉄骨造の柱梁フレームの内側に、木造の耐震フレームを入れ子状に挿入する混構造である。耐震木造ラチスシェルと名付けたこのフレームは地震力のみを負担することから、耐火被覆なしであらわしとすることができる、構造と内装を兼ねられる。入居者が木造化による空間的付加価値を存分に享受できる新しいワークスペースが実現した。二つ目に、エレベーターのみで移動する従来型基

準階オフィスビルの形式を打破すべく、豊富な屋外コモンスペースを、ビル内をおおらかに移動することができる避難階段に沿って立体的に配置した。この仕掛けは、建物内に活発な行き来を発生させるとともに、入居者間の交流を促す機能を持つ。都市木造を本気で普及させるためには、私たちの都市生活に豊かさと悦びをもたらす新たなビルディングタイプを開発し、都市の中に次々と埋め込んでいかなくてはならない。この建築はそのための試みであり、今後様々なバリエーションで展開可能な形式だと考えている。



F6コモンテラス 北側に視界が開け、小学校が見える



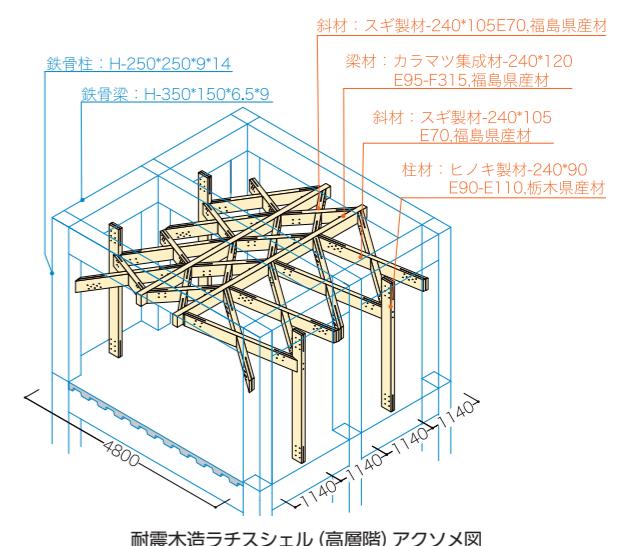
試験体X 実験風景



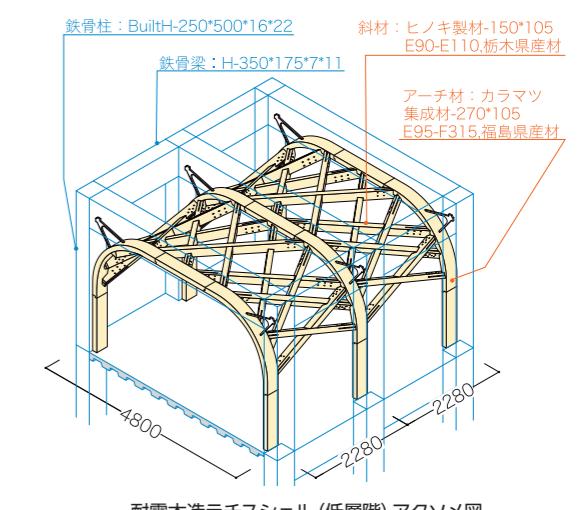
試験体1 燃焼実験後



南北方面(長手) 断面図



耐震木造ラチスシェル(高層階) アクソメ図



耐震木造ラチスシェル(低層階) アクソメ図

受賞概要・講評

渋谷区に所在するテナントビル。耐火被覆が不要となる耐震構造として、木のフレームを、大胆に表しで使用している。

本作品は、「耐火建築物であっても、木に包まれた空間

を作ることができるという普遍的な手法を示している点」「木造のラチスシェル構造による特徴的なデザイン」等が評価された。



©Kenichi Aikawa

05 | 奨励賞

柴崎第二学童保育所

施主	社会福祉法人 恵比寿会
受賞者	デザインファームBAUM
施工者	江州建設株式会社

感性を養う木の栖(すみか)

施設の特徴は目の整った国産ヒノキのCLTで作られたバタフライ屋根で、従来の柱・梁構造と異なり、伸びやかで浮遊感のある木造空間を実現した。ハイサイドからの穏やかな光が、CLTや内部の木材に豊かな表情を与え、児童の感性を養う快適で落ち着きのある雰囲気を作り出している。

建物は児童にとっての「サードプレイス」を目指したもので、学校と家庭の中間的な場所として快適で心地よい空間を提供している。玄関を開けると大らかなCLT屋根が児童を包み込み、学校(RC造)での緊張感を一掃し、リラックスして過ごすことができる。

特殊な金物はいっさい使用しておらず、一般的な資材・技術で施工可能な工法を採用しており、在来軸組工法におけるCLT材利用のプロトタイプを目指した。汎用性のあるサイズ(長さL6100)と技術により都市部での木材の活用が促進されることを期待する。



保育室



外観写真



2F休憩・図書スペース

CLT利用のプロトタイプを目指して

断面計画・室内環境計画

- ・住宅街のスケールに合わせたボリューム
- ・光あふれる内部空間
- ・近隣への配慮(騒音対策)
- ・選べる空間バリエーション

○使用木材(構造)構成

屋根: 桧 CLT t210 (愛媛県産)

最大 1179*6170

(実加工)

梁・桁: 米松 KD (米国産)

120*150~330

柱・小屋束: 杉 (栃木県産)

120*120

土台: 桧 (愛媛県産)

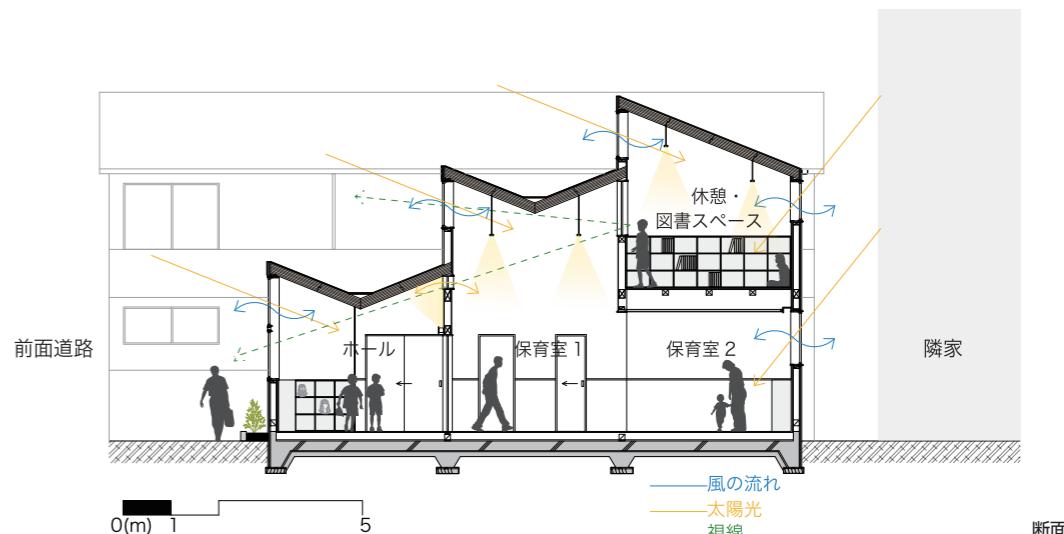


構造ダイアグラム(在来軸組+CLT屋根)

構造計画

在来軸組工法の屋根部分にCLT材を使用することで下記を目的とした

- ・梁の無い一室空間
- ・厚み(t210)を利用した断熱性能
- ・桧CLT材(片面化粧)現しによる温もりのある内部空間
- ・施工の単純化
- ・汎用材の活用によるコストダウン
- ・在来軸組工法におけるCLT材利用のプロトタイプを目指す



断面図

受賞概要・講評

立川市に所在する学童保育所。CLTによるバタフライ屋根は、在来軸組工法におけるCLT利用のプロトタイプを示している。

本作品は、「CLTの強みを、構造に、効果的に活用して

いる点」「逆三角形の屋根により、光が反射し、木の温もりを感じられるデザインとなっている点」等が評価された。



©GREEN SPRINGS

06 | 奨励賞

GREEN SPRINGS

施主 株式会社立飛ホールディングス

受賞者 設計者 株式会社スタジオタクシミズ、株式会社ランドスケープ・プラス、株式会社山下設計
施工者 株式会社フレームワークス

設計者
施工者 株式会社大林組

東京のウェルビーイングは
東京の木で育てる
多摩産材を約5,200m³使用

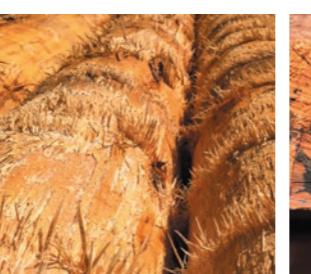
都心まで約25分の好アクセスでありながら昭和記念公園の豊かな緑も有する立川において、自然を楽しみ、豊かな感性を育み、心地よく働き、効率やスピードを追求するのではなく、自分の心と体、そして自分たちの生きる社会のしあわせを大切にする次の時代の価値観「ウェルビーイング」を軸に計画を行った。



伐採現場 (青梅市)



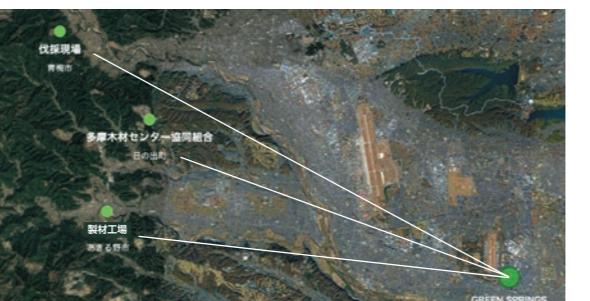
多摩木材センターに並ぶ丸太
(日の出町)



製材工場 (あきる野市)



多摩産材の認証の刻印がされた板材



プロジェクトのシンボルである杉は、青梅市内など都内の伐採現場で伐られ、多摩産材を扱う唯一の原木市場「多摩木材センター」で販売されたもの。都内にある多摩産材認証登録事業者の製材工場で製材された、トレーサビリティが確保された多摩産材を使用している。

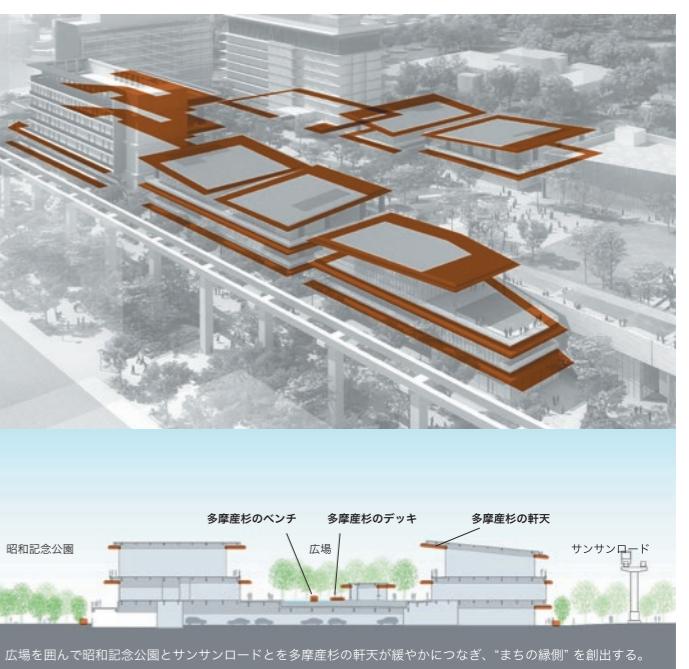


圧倒的な緑に囲まれた パブリックスペース

ここでは約1haの広場を囲むようにしてオフィス・商業店舗・ホテル・ホールを配置しており、広場と相互関係を持つ場所がそれぞれの機能に宿され連帶している。



屋内外を緩やかにつなぐ多摩産杉の軒天



受賞概要・講評

立川市に所在する商業施設・オフィス・宿泊施設等を併設する複合施設の外装の木質化。軒天井等にふんだんに多摩産材を使用し、「まちの縁側」として、来訪者に癒しを与える空間としている。

本作品は、「水平方向に、徹底的に軒天を木質化することにより、景観の形成に寄与している点」「昭和記念公園近くに位置し、付近のランドスケープと連動している点」等が評価された。



©中道淳／ナカサアンドパートナーズ

07 奨励賞

ENEOS マルチモビリティステーション

施主 ENEOSホールディングス株式会社

受賞者 株式会社三菱地所設計

施工者 株式会社NIPPO

CLTが持つ自然豊かな表情がブランド構築に貢献し、コミュニケーションの拠点となる

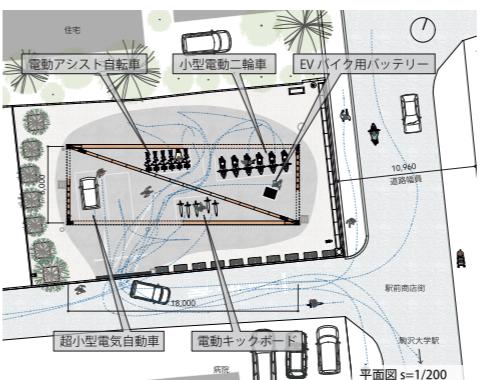
これからの社会に不可欠な“電動”で“マイクロ”な“乗り物”的普及のため、より多くの人びとに関心を持ってもらい、しかも実際に利用することによってその価値を体験できるショーケースとしてCLT造による拠点施設を整備した。

建築デザインは、6×18mの矩形平面に、CLT造（屋根・壁）、集成材軸組造、鉄骨造（梁）のハイブリット構造による屋根／壁という切り分けのない覆いをかけたオープンな構成とし、内側は全て木現しとしている。



1. プロジェクトの目的

ラストワンマイルと呼ばれる、自宅からバス停や最寄り駅までの距離、あるいは着いた場所から最終目的地までのちょっとした距離を補う、だれもが乗れる電動・小型・一人乗りのマイクロモビリティのシェアサービス拡充を目的とした拠点施設を整備した。



2. 建築デザイン

6×18mの矩形平面に、屋根／壁という切り分けのない覆いをかけたオープンな構成とし、その覆いの下に多種のマイクロモビリティを配列し、利用する人びとが集まる場をつくった。架構形式は、CLT造（屋根・壁）、集成材軸組造、鉄骨造（梁）のハイブリット構造とし、内側は全て木現しとしている。

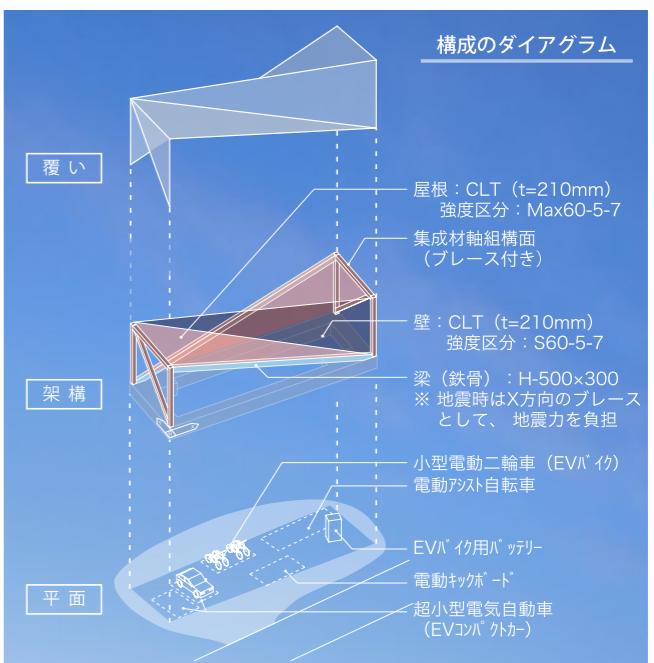


3. プロジェクトの効果

屋根や壁となる複数の三角形が多角的に組み合わせてバランスするアイコニックな建築が、単純なかたちの中に多様さを併せ持ち、国産杉で加工されたCLTが持つ自然豊かな表情によって、地域に向けたブランド構築やコミュニケーションの拠点として広く訴求力をもつこととなった。



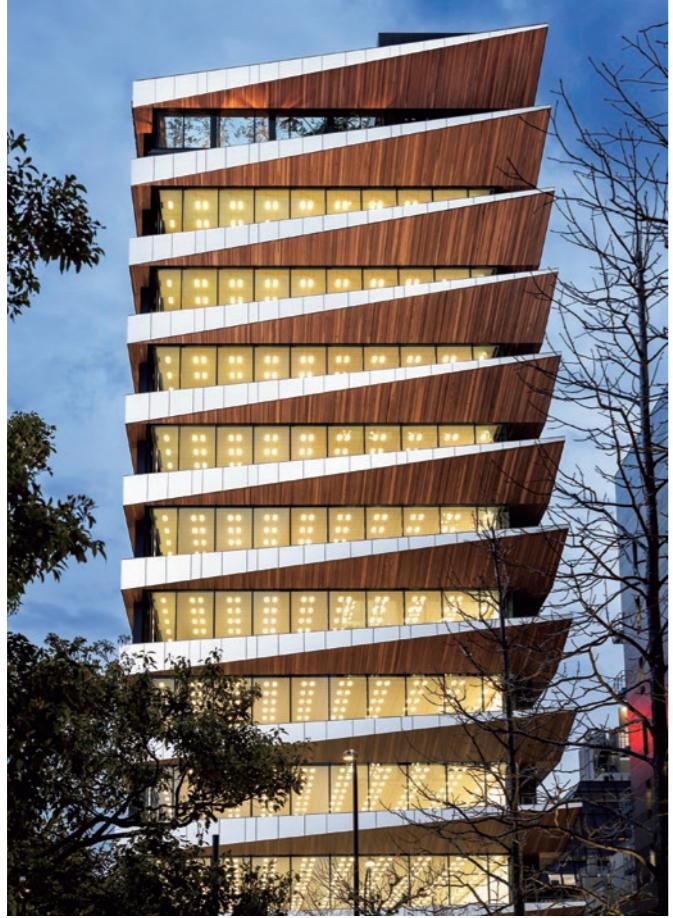
CLTのマザーボードと建て方の様子



受賞概要・講評

世田谷区に所在する電動自転車等マイクロモビリティのシェアサービス拠点。CLT等を活用したハイブリット構造により、屋根や壁による切り分けのないオープンな構成とし、内側は全て木の表しでデザインしている。

本作品は、「三角形のシンプルなデザインだが、“かっこいい”木材の使い方がされている点」「エネルギー関連施設において木を使うことによるメッセージ性の高さ」等が評価された。



© 駕行舎 野田東徳 © 千葉顯弥 (写真右上)

08 | 奨励賞

銀泉西新橋ビル

受賞者 株式会社日建設計

木の軒庇をファサードにもつオフィスビル

大手町から日比谷通りに連なる大型開発ビル群の最南部、西新橋のオフィス街にあって、日比谷通り外堀通りの交差点に面する銀泉株式会社のテナントビル計画である。

「銀泉ブランドの旗艦ビルとしてのシンボル性」「テナントビルとしての合理性」「大規模都市開発を伴わないテナントビルが都市空間を豊かにする可能性」の3つを設計のテーマに据え、基準階が積層する構成を素直に表しながら、日本古来の「軒庇と縁側」のかたちを用いて応えることとした。

木の連なりをまちの風景に

日比谷公園まで拡がる空間全体を敷地と見立て、その都市軸に向けて大きくななめに跳ねだした庇は、ワークプレイスに拡がりを感じさせつつ外の喧騒から守る、いわば縁側のような存在として機能している。天然木を用いた印象深い軒庇の連なりは、まちの風景を特徴づけると共に、交差点付近の空間に穏やかな公共性をもたらしている。

環境への配慮をこめて木を使う

港区による木材使用の枠組「みなとモデル」認証の国産杉材は二酸化炭素を固定化する役割を担うとともに、幅・厚さ・色合いの不均質な節あり材を源平貼することで、天然木の特徴が街を行き交う人にも伝わるよう配慮した。

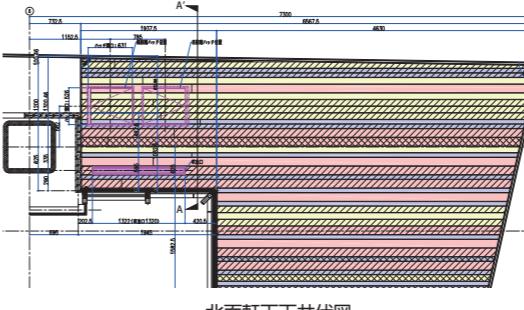
また木材を長く良好な状態に保つため、木の小口には必ず水切りを設け、勾配天井部ではそもそも小口接手が生じないよう長尺材を使用する等、風雨による劣化を防ぐための納まりにも配慮を重ねた。



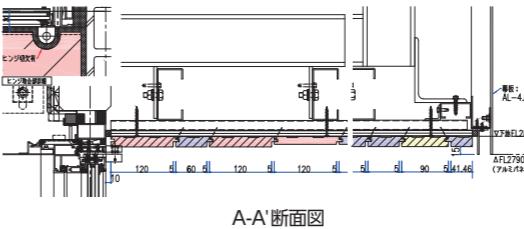
基準階平面図

木の連なりの迫力感を実現するディテール 木をソリッドに見せる

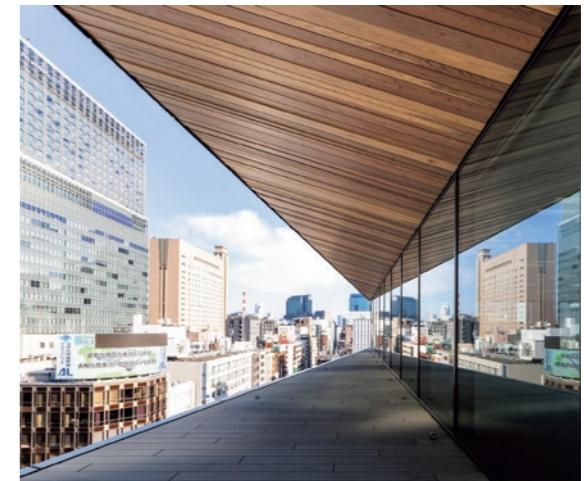
遠くからの視点からでも木材らしさが失われない様に、3種類の幅×3種類の厚みを混ぜて使用した。使用している木材は節有のスギ材で、赤太、白太の区別なく源平貼りとすることで、木目調のテクスチャではなく、ソリッドな木の塊を庇の形状に合わせてそぎ落としたような表情を持たせている。



北面軒天井伏図



A-A'断面図



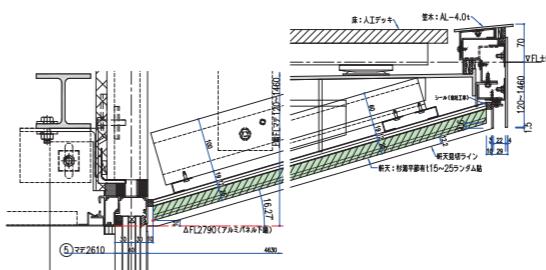
基準階事務室の窓辺に拡がる庇



交差点からの風景

木を濡らさない

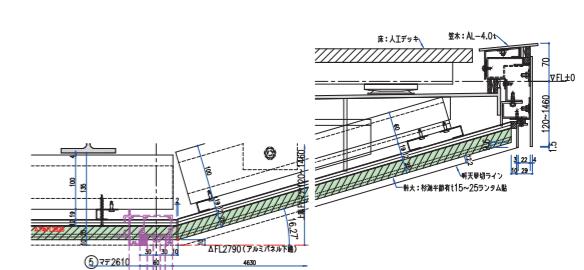
小口には水切りをしっかりと設け、上面はステンレスパネル+塗膜防水を施している。更にステンレスパネル下部にカットTの支持部材を取り付けて野縁受を支持する役割も担っている。



北側庇断面詳細図(アルミサッシ部)

水を小口に回さない

雨にふれる小口となるべく作らないように雨が伝う斜め部分は1本ものの部材を用いている。水平部分とななめ部分が出会う部分は、実寸模型に水を垂らして水の切れ方を確認。2mmの目地を設けることでシームレスかつ水が切れるディテールとした。



北側庇断面詳細図

受賞概要・講評

港区に所在するテナントビル。特徴的な木質の庇は、ワークプレイスを広く見せる役割や、外部からのプライドの役割など、様々な効果を発揮している。

本作品は、「角度のついた庇の木質化により視認性が高まり、インパクトのあるデザインである点」「源平の材を混合したデザイン」等が評価された。



09 奨励賞

SHIMZ CYCLE UNIT(シミズサイクルユニット)

受賞者 施主 清水建設株式会社
設計者
施工者

仮設現場事務所も木造化

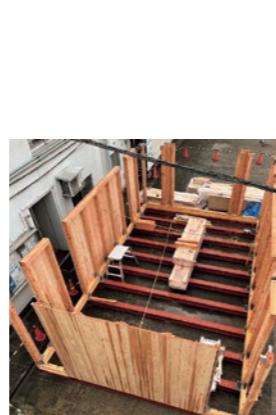
エネルギー・脱炭素・働く環境の課題を解決するシステム

これまでの軽量鉄骨造による仮設事務所は組立・解体・移動・転用時に排出されるCO₂が多く環境面へはあまり目が向いていなかった。また内部空間もスチールな無機質な傾向が強く、働く環境として今の時代に見合う仮設事務所が必要と考えました。

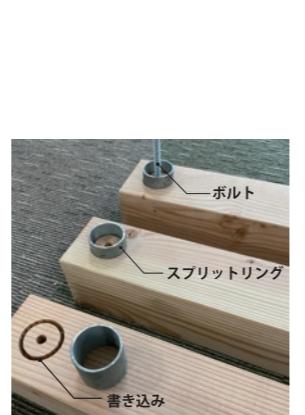
建設現場の職員が働く木造仮設事務所をデザインし、



外観



建方



重ね梁のディテール
書き込み

従来の仮設事務所の無機質な空間を木造化することで働く人のWell-beingの向上と建設業が抱える環境問題を改善することを目指した。木の持つ効用(サステナブル性・軽量性・環境性・快適性など)を最大限活かした、これからの環境社会に適した現場事務所が実現した。

サステナブルな材料・構法

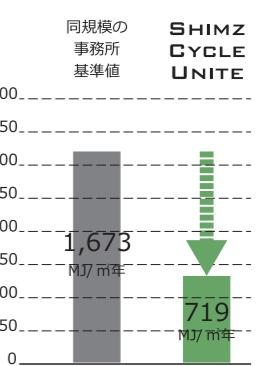
構成材料のすべてに木を使用することでCO₂を多く固定することができた。使用材料を単純化し組立が容易な木造ユニットを開発することで仮設事務所の移設に適した持続可能な構法が実現した。

高い環境性能

組立・解体・移動・転用を容易にする木造ユニットにより、従来のプレファブ現場事務所に比べて約4割のCO₂排出量の削減が可能となった。建物の省エネルギー性も高くZEB readyを取得了。



ZEB Ready
Low-Eペアガラス、外壁の断熱化、全熱交換器



高い快適性

木の高い断熱性・調湿性で温熱環境も従来のプレファブ事務所に比べて飛躍的に向上した。木の特性であるリラックス効果・健康性の向上・ストレス軽減などにより働き手のWell-beingの向上にも貢献できた。木による様々な効用により環境社会に最適な仮設現場事務所が実現した。

■木材の断熱性能を活かした外壁の高断熱化

Shimz Cycle Unit
外壁の熱貫流率
壁: 0.655W/m²K
屋根: 0.275 W/m²K
窓: 2.5 W/m²K

従来プレハブ
約2.5倍性能向上
壁: 1.335W/m²K
屋根: 1.157 W/m²K
窓: 6.2W/m²K

上にも寄与している。

本作品は、「仮設現場事務所を木造化する発想がユニークで意義がある点」「建築現場等で働く人の労働環境の改善に寄与する点」等が評価された。

受賞概要・講評

建設現場等の仮設事務所を木造でつくる取組。建物自体を木造とすることによりCO₂を固定するだけでなく、組立・解体・移動・転用を容易にすることでCO₂排出量を軽減するほか、仮設事務所を利用する人の快適性の向



©MITSUBISHI ESTATE HOME CO.,Ltd.

10 | 奨励賞

三菱地所ホーム本社 TOKYO BASE

受賞者 施主
設計者 三菱地所ホーム株式会社
施工者

木を起点に未来を創造するオフィス
感性を開き、イキイキ働きながら、真に価値ある
イノベーションを生み出していく

三菱地所ホームは、2022年6月に新宿へ本社機能を移転。移転を契機に、顧客や社会の抱える様々な課題を解決するため、真に価値あるイノベーション創発を実現させるオフィス環境の構築を目指した移転プロジェクトであった。

オフィスのコンセプトは「木と出会い、想いをつなぎ、共に未来をつくる場所」。真に価値あるイノベーション創発には自社が大切にする価値観の共有が重要であると考え、当社の中核的価値の一つである木（国産材）を中心に空間設計を行った。多くのステークホルダーが集う共創空間には、自社事業で使用する構造材や原木を積極活用し、イノベーション創発の起点とした。

具体的には、岩手県・山梨県から伐り出したヒノキ・スギ・カラマツの原木を展示した他、構造材を使用した様々なプロダクトを設置した。社員や顧客・取引先など多くの来訪者が木に触れながら、対話や協働することで新たなアイデア創発につなげる空間を実現させた。



共創空間のカフェ兼受付。構造材（岩手県産スギ材）と建築現場で生じる端材を活用したデザイン

イノベーション創発に向けて実装した場所や機能



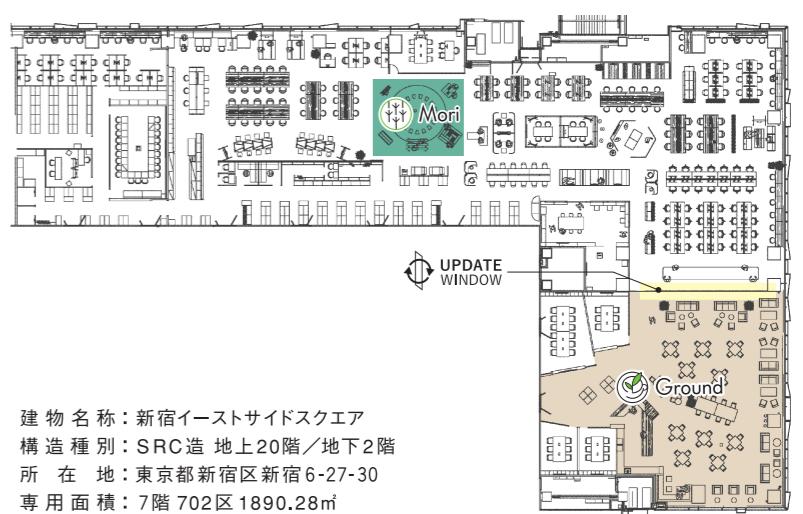
Mori

Ground

UPDATE WINDOW

業務の合間に休息しながら社会の変化や社会課題を捉えることができるリチャージスペース「Mori」と、ステークホルダーと社員が共創し新しいアクションを起こしていく場所「Ground」によりアイデア創発を加速させるINPUT/OUTPUT機能を実装させた。

さらに、執務エリアと共創空間を全面ガラス壁とすることで、外部との常時接続を実現するUPDATE windowを設け、自分自身を常にアップデートし続けることができる機能も設けている。



建物名称：新宿イーストサイドスクエア
構造種別：SRC造 地上20階／地下2階
所在地：東京都新宿区新宿6-27-30
専用面積：7階 702区 1890.28m²

「感性」を刺激する原木や木のプロダクト



岩手県で伐り出した原木（スギ・ヒノキ・カラマツ）とカラマツの苗木

技術者が建材サンプルを確認する場（LABO）。構造材を活用してフレームやシェルフ・カウンターを設計

社員に社会課題を伝えるSDGsカラーのスツール（宮崎県産スギ材）。リチャージスペースMoriに設置

受賞概要・講評

新宿区に所在する住宅メーカーのオフィス木質化。事業で使用する構造材等を多く用いて設計するとともに、林業・木材産業やSDGs、都市の木造木質化の意義を社員や来訪者に訴求する空間となっている。

本作品は、「様々なデザインによる木の活用方法を提示している点」「木を扱う事業者として、徹底的に社員に木に触れる環境を提供している点」等が評価された。